

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
統合分野	災害看護・ 国際看護	1	30	3年次	9月	北田真己 八代利香 上野達郎
授業概要 災害時の医療と看護について理解し看護に必要な知識・技術を修得する。また看護の国際貢献についての基礎的知識や姿勢を養うことをねらいとする。広い視野で看護活動が展開できる基礎的理解を深める。						
科目目標 災害が人々の心身に及ぼす影響を理解する。災害の種類、特殊性と発生からの時期に応じた看護の実践について理解する。災害医療訓練に参加し、活動の実際を体験する。救急医療における看護技術の演習を行い、基礎的技術を修得する。社会の動向に関心を寄せ、世界の健康問題の現状について理解する。また看護師としての諸外国との協力について理解する。						
使用教材 テキスト：系統看護学講座 看護の統合と実践 災害看護学・国際看護学，医学書院 参考文献等						
評価 筆記試験						
授業計画						
時間・回数	授業内容					方法
6時間・3回	1.災害及び災害看護に関する基礎的知識 1)災害・災害看護の定義 2)災害対策基本法 3)災害に関する理論 4)災害初期における看護 (1)初動体制の仕組み (2)全体状態の把握、情報収集 (3)医療施における安全確保と傷病者の受け入れ体制整備 (4)地域での救護活動 2.災害時に看護が果たす役割、災害各期における看護支援活動 1)災害看護の基本的考え方と看護の役割 2)災害サイクルにおける看護活動、保健衛生管理 (1)医療救護チームとの連携 (DMAT など)					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
統合分野	災害看護・ 国際看護	1	30	3年次	9月	北田真己 八代利香 上野達郎
時間・回数	授業内容					方法
	<p>3)災害中長期の看護</p> <p>(1)避難所生活者への看護</p> <p>①感染症に対する看護と予防</p> <p>②肺血栓塞栓症の予防</p> <p>③消化器症状への看護（ストレス性胃炎、便秘など）</p> <p>(2)仮設住宅生活者への看護</p> <p>(3)被災後の生活支援</p> <p>①関係諸機関、他職種との連携</p> <p>4)災害静穏期の看護】</p> <p>(1)防災マニュアル</p> <p>(2)防災訓練</p> <p>3.災害後の発達段階、健康障害に応じた看護</p> <p>1)発達段階に応じた看護</p> <p>(1)小児への援助とこころのケア</p> <p>(2)妊産婦への援助とこころのケア</p> <p>(3)高齢者への援助とこころのケア</p> <p>2)健康障害に応じた看護</p> <p>(1)精神疾患患者への援助とこころのケア</p> <p>(2)糖尿病患者への援助</p> <p>(3)人工透析療法中の患者への援助</p> <p>(4)在宅酸素療法中の患者への援助</p> <p>(5)その他、慢性疾患や神経難病など継続治療・処置が必要な患者への援助</p>					講義
2時間・1回	<p>4.災害発生時の社会の対応やしきみ</p> <p>1)災害に関連する制度と情報伝達体制</p> <p>2)災害拠点病院の機能と役割</p> <p>3)災害関係各機関の支援体制</p>					講義
2時間・1回	<p>5.国際的支援のしくみ</p> <p>1)災害が人々の生命や生活に及ぼす影響</p> <p>(1)災害の種類による被害・疾病の特徴</p> <p>(2)人的災害と天災（クラッシュ症候群など）</p> <p>2)被災者及び援助者の心理（心理的回復プロセス、PTSR、PTSD）</p>					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
統合分野	災害看護・ 国際看護	1	30	3年次	9月	北田真己 八代利香 上野達郎
時間・回数	授業内容					方法
4時間・2回	6.災害時における看護支援活動 1)災害時に必要な技術 (1)トリアージ (2)搬送 (3)救急処置 (4)代用品を用いた搬送、救急処置 (5)心肺蘇生法 A E D					実技
8時間・4回	1.国際看護の概要 1)看護とグローバル化 (1)看護のグローバル化（保健の国際ネットワーク WHO、看護の国際ネットワーク） (2)多文化看護の発達 (3)グローバルヘルス 2)国際社会の現状と国際看護活動の課題 (1)国際社会の歴史と概要 (2)国際協力の必要性 3)国際看護活動の概要 (1)国際看護活動の支援を必要とする対象 (2)海外における国際看護活動 (3)国内の在日外国人への看護活動 4)国際看護活動を推進する人や機関 (1)保険医療分野における国際機関 (2)国としての国際協力活動 (3)国内外のNGOによる国際協力活動 5)国際看護活動の支援を必要とする対象 (1)国際看護活動の展開のプロセス (2)地域アセスメント (3)プライマリー・ヘルスケア実施のための調査 (4)地域評価					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
統合分野	災害看護・ 国際看護	1	30	3年次	9月	北田真己 八代利香 上野達郎
時間・回数	授業内容					方法
	2.異文化理解と国際看護活動 1)文化的存在としての人間の理解 2)文化を考慮した看護 3)国際看護活動に必要な能力 3.国際看護活動の実際 1)国際看護活動の実際 (1)国際協力活動 (2)海外における国際看護活動の実際					
6時間・3回	4.国際感染症 1)国際感染症 (1)現状における対策と今後の課題 (2)発展途上における感染症について (3)結核とエイズについて (4)感染症のサーベイランスシステム (5)ワクチン政策と実際					講義
2時間・2回	筆記試験（災害看護 45分 国際看護 45分とする）					
備考						